

熱海・箱根・湯河原 首長対談

新 しい
 広 域 連
 携 を 考
 え る 。



さいとう さかえ
 齊藤 栄
 熱海市長

全国でも有数の温泉資源を持つ、静岡県熱海市、神奈川県箱根町、湯河原町。古くから観光のまちづくりに力を入れてきた3市町ですが、住民の生活面や行政運営においても、県境を越えて、密接な交流を行ってきました。

今回の特集は、5月10日(月)に熱海市しやうわちやう昭和町の起雲閣で行われた、熱海・箱根・湯河原首長対談をお届けします。

齊藤熱海市長(以下「齊藤」) 今日はお忙しい中お越しいただきありがとうございます。

箱根町そして湯河原町とは、これまで県境を越えての広域の取り組みとして、さまざまな連携をさせていただいております。

まず、箱根町との交流ですが、先日私も初めて参加しましたが、海老名サービスエリアで、観光誘客キャンペーンを合同で実施しています。両市町のブースが並ぶのですが、私は、さらに観光客の視点で観光ルートを作ったり、ツアーを組んだりしていきたいと思っ

ています。

■ 観光客へのおもてなしの一つ

山口箱根町長(以下「山口」) 海老名サービスエリアは、お客さんが多く集まるサービスエリアの一つだと思います。伊豆や箱根へ来るお客さんは、大抵ここで休んでそれぞれの目的地に向かって行きます。

そういう立地にあることで、「今日は熱海に行きます。」「今日はこれから箱根に行くんです。」というお客さんが、マップやパンフレットを手にとっていきます。それらを渡すときに耳寄りな情報の提供や説明をすることが、おもてなしの一つだと考えています。いわゆる生の情報を提供して誘導するという意味では、効果的であると思います。

この合同のキャンペーンは、始めて5年ぐらいになるとは思いますが、私も熱海と箱根と1泊2日で回れるモデルコースを作るとか、共通のマップ、パンフレットを作り、広めることができればよいと思います。

■ 生活の面でも強いつながり

齊藤 湯河原町とは、まず観光の面では、2月に梅のスタンプラリーというものをやりました。成果も出たようですが、湯河原町長のご感想はいかがですか。